

号外



# Design

～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域包括ケア病棟広報誌Design号外45号です。地域包括ケア病棟“彩り”で受け入れした事例の紹介、老健やましろからのお知らせです。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

## 地域包括ケア病棟“彩り”で受け入れした事例の紹介（第47回）

～ “薬・薬連携” 促進のために ～

患者さんは70歳代の女性です。今回、消化管出血で急性期病棟に入院されました。ADL低下などの理由により自宅退院が困難となったため、有料老人ホームに入居されることになりましたが、環境が整うまでの間、地域包括ケア病棟に入棟して頂きました。今回、退院前に実施したカンファレンスに調剤薬局の薬剤師の方に参加して頂きました。以下、当院薬剤師からの報告です。

\*



患者さんのご家族、退院後に入居される有料老人ホームの職員の方、調剤薬局薬剤師の方に参加して頂き、退院前カンファレンスを行いました（当院からは、主治医、病棟看護師、ソーシャルワーカー、病棟担当薬剤師が参加しました）。

患者さんはもともと、飲み薬を毎食後と寝る前の、1日4回服用されていましたが、カンファレンスの中でご家族から、飲み薬の数が多く薬を飲む際にこぼしてしまうこともあったと伺いました。調剤薬局の薬剤師とこのことについて情報共有し、服用する量が多かった朝食後の薬の一部を昼食後服用に変更し、朝食後に服用する薬の数を減らすことにしました。

“薬・薬連携”とは、病院薬剤師と調剤薬局の薬剤師が情報を共有し、患者さんが安全で充実した薬物療法を受けることができるように連携することです。これからも、患者さんが入院してからも、退院してからも安心して服薬を継続できるように連携していきたいと思います。

（薬剤部 病棟担当薬剤師 青山 寿美子）



お気軽にお問い合わせください。

～ よろしくお願ひします ～

地域包括ケア病棟“彩り”と老健やましろ（入所・ショートステイ・通所リハビリ）では、患者さん（利用者さん）の受け入れを積極的に行っています。お気軽にお問い合わせ下さい。

\*

0774-73-1818（担当：中野・中嶋・松田）

## ゴールデンウィーク期間中、利用ください。



### ～ お気軽にお問い合わせください ～

平素は、地域包括ケア病棟“彩り”に患者様をご紹介頂き、ありがとうございます。

さて、Design46号でご案内させて頂きましたが、例年通り、当院地域包括ケア病棟“彩り”では、ゴールデンウィーク期間中、患者様の受け入れをしています。昨年のゴールデンウィークは、8名の患者様を受け入れしました。院内調整の都合もあり、4月17日（金）頃までにご連絡を頂きましたら幸いです。担当者（中野・中嶋・松田）までお気軽にお問い合わせ下さい。ご連絡をお待ちしています。（南出）

## 「山城ケア病棟」と検索ください。

### ～ 受け入れさせて頂いた事例などを紹介しています ～

受け入れさせて頂いた事例の紹介の他、地域包括ケア病棟“彩り”での様々な取り組みの紹介をしています。もちろん、スマホでも閲覧して頂けます。

山城ケア病棟

検索



## 地域医療連携室より

### ～ music ～



音楽を聴くソフトはこの数十年で大きく変化しています。レコード、カセットテープ、CD。MDもありましたね。今はダウンロードでしょうか、定額制で聴き放題のサービスもありますね。環境を整えば高音質で聴くこともできます。

私は以前からCDやレコードを購入して音楽を聴いているのですが、最近、定額で聴き放題のサービスを利用して音楽を聴くこともあります。聴きたい時にすぐ聴け、聴きたいほとんどの曲が聴けるという手軽さが良いです。音質の良し悪しやモノを所有するという感覚は別として、リスナーにとってはありがたいサービスです。

現在、地域医療連携室では、地域包括ケア病棟“彩り”へのご入院依頼があれば速やかに受け入れさせて頂くよう取り組んでいます。聴きたい時にすぐ聴ける音楽サービスのよう、利用したいときにすぐ利用して頂き、そして、何より「利用して良かった」と思ってもらえるよう、速やかに対応してまいります。ご連絡をお待ちしています。（地域医療連携室 室長 南出 弦）